

第112号

ふれあい

一関市室根市民センターだより



▲石越コミュニティ運営協議会会長

▼室根まちづくり協議会会長



若者の取り組み説明中

具体的な取り組み①
青年ふれあい塾

・平成3年に若者定住促進対策事業により室根公民館青年事業として発足し、35年目
・メンバーは現在12名(20代～40代)で、市内在住または勤務している青年が対象

①地元観光バス事業(室根山つつじまつり合戦出陣)
②市民館記念品プレゼント
③環境保全活動(エコキャップ回収)



室根大祭カウントダウンの撮影にご協力いただきました

交流深まる視察研修

石越コミュニティ運営協議会が来館

宮城県登米市の石越コミュニティ運営協議会の皆さんが、若者の地域づくりへの参画について学ぶことを目的に、7月7日(火)室根市民センターへ視察研修に訪れました。

研修では、第78回全国優良公民館文部科学大臣賞の受賞において高く評価された、若者団体の活動を中心とした地域づくりの取り組みについて紹介しました。室根市民センターの概要をはじめ、「青年ふれあい塾」や「室根と愉快な仲間たち」の活動内容を説明し、若者が地域活動へ主体的に参画するまでの経緯や、事業の企画・運営を通じて地域とのつながりを深めてきた実践事例を紹介しました。また、若者が継続的に活動できる環境づくりや、市民センターが担うコミュニティ機能についても説明し、若者の成長を地域全体で支える取り組みを紹介しました。

説明後の意見交換では、行政との関わりや若者団体への支援体制、事業運営の進め方、地域住民との連携などについて活発な意見が交わされ、それぞれの地域が抱える課題や取り組みについて情報を共有しました。参加者からは多くの質問や意見が寄せられ、お互いの実践から学び合う有意義な研修となりました。最後は参加者全員で記念撮影を行い、今後の地域づくりや地域間交流のさらなる発展につながる貴重な機会となりました。



室根市民センター「青年ふれあい塾」では、平成21年より「エコキャップ回収活動」を続けています。

この取り組みは、日々の生活で出るペットボトルのキャップを回収し、国際支援団体を通じ、世界の子どもたちへワクチンを届けるとともに、資源の有効活用による地球環境保全を目指すものです。 ※プルタブの回収も行っております。お気軽にお問い合わせください。

① エコキャップをよく洗う



② 室根市民センターに持って来る



③ エコキャップ 2kg=860個



④ 世界の子どもたちへ



室根市民センターからのお知らせ

【職員研修での窓口対応について】

7月31日(金)は、職員研修のため職員が終日不在となります。

施設は休日管理人による管理となり、印刷及び施設予約などの窓口業務はご利用いただけません。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

【夏休み学習スペースを開放します！】

室根市民センターでは、夏休み期間、小・中学生を対象に学習スペースとして部屋を開放します。「家ではなかなか勉強に集中できない」「静かな環境で宿題を進めたい」という皆さんは、ぜひ市民センターをご利用ください。

【利用時間】平日 午前8時30分～午後5時15分
※利用は学習(勉強)のみとなります。

行事予定 ※26日～翌月25日までの予定を掲載しています 予定の行事が変更・中止となることがございます。				
月	日	行事内容	場 所	時 間
7月	29(水)	大人のカラダづくり教室	室根体育館	10:00～11:30
8月	1(土)	子ども土曜塾「星空観察会」	天文台ひろ	19:00～21:00
		第13回日本少年野球マツダボール杯岩手大会	室根野球場	
	2(日)	第13回日本少年野球マツダボール杯岩手大会(予備日)	室根野球場	
	3(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
	10(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
	13(木)	子ども土曜塾「星空観察会」(予備日)	天文台ひろ	19:00～21:00
	16(日)	室根自治会対抗野球大会	室根野球場	
	17(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
	22(土)	子ども土曜塾「お習字教室」②	室根市民センター	10:00～12:00
	23(日)	室根自治会対抗野球大会(予備日)	室根野球場	
	24(月)	健康増進グループ 百歳体操	室根市民センター	10:00～12:00
	25(火)	陶芸教室	室根市民センター	10:00～12:00

編集/発行：一関市室根市民センター
〒029-1201
岩手県一関市室根町折壁字大里 201-1
TEL:0191-64-2347/FAX:0191-64-3044
E-mail: mmachikyo-kt@tiara.ocn.ne.jp

【編集後記】

「むろね七夕まつり」が今年も多くの笑顔でにぎわいました。祭りを通して、人と人とのつながりの大切さを改めて感じます。夏はまだ始まったばかり。暑さに気を付けながら、思い出っぱいの素敵な夏をお過ごしください。(T.S)

暮らしを彩る学びと交流の時間を満喫 【4区、大里、田茂木、竹野下女性学級 開催】

陶芸で広がる創作の楽しさ 4区女性学級

4区女性学級では、7月10日（金）、第4区集落センターで「陶芸教室」を開催しました。

あすみ工房の小山澄江さんを講師に迎え、参加者は陶芸の基本や器づくりのコツを学びながら、世界に一つだけの作品づくりに取り組みました。

参加者は粘土の形や厚みを調整しながら制作を進め、作品づくりに集中して取り組みました。完成した作品を手にとると、笑顔で出来栄を確かめ合う様子が見られました。

土に触れながら創作する楽しさを味わうとともに、陶芸への理解を深めることができました。



陶芸教室の様子

多肉植物の魅力を学ぶ 大里女性学級



多肉植物寄せ植え教室の様子

大里女性学級では、「多肉植物寄せ植え教室」を6月28日（日）に大里分館で開催しました。

講師に気仙沼市の松田由紀子さんを迎え、参加者は多肉植物の特徴や育て方、寄せ植えを美しく仕上げるコツを学びながら、マグカップを器にした作品づくりに取り組みました。

異なる多肉植物を組み合わせ、マグカップに植え込むことで、それぞれ個性あふれる寄せ植えが完成。制作中は講師へ質問したり、作品を見せ合いながら和やかに交流を深めました。

参加者同士の親睦を深める有意義な学習の機会となりました。

歴史と食文化を学ぶ移動研修 田茂木女性学級

田茂木女性学級では、郷土の食文化や歴史・文化財への理解を深めることを目的に、6月28日（日）宮城郡松島町へ移動研修を実施しました。

松島蒲鉾本舗では、名物の笹かまぼこ手焼き体験を行いました。参加者は焼き加減を工夫しながら、自分だけの焼きたての笹かまぼこを味わい、出来たてならではの美味しさを楽しみました。

その後、国の重要文化財である円通院を見学し、歴史ある建造物や美しい庭園を巡りながら、伊達家ゆかりの歴史や文化への理解を深めました。



円通院で歴史を学ぶ

花と歴史に親しむ一日 竹野下女性学級



美しいバラ園を散策

竹野下女性学級では、自然に親しみ、心身のリフレッシュを図ることを目的に、6月28日（日）花巻市方面への移動研修を実施しました。

花巻温泉バラ園では、見頃を迎えた約450種、6000株のバラが咲き誇る園内を散策し、多彩な品種や美しく整備された庭園を楽しみながら、花と緑が織りなす景観に親しみました。

参加者は、花や自然に癒やされるとともに、交流を深めながら充実した一日を過ごしました。

短歌 ～佐藤 知男 選～

《選者詠》

頼るべき竿を探してささげ蔓

自立とふこと出来ぬ悲しさ

オホデマリの花の散り敷く庭先は
雪積むやうに真白になりぬ

文芸（短歌・俳句・川柳）

5月26日～6月25日 投句

砂漠には海から水を引くべきで

そしてその後木を植えましよう

殺し合う戦争なんてすぐ止めて

共存共栄その方がよい

矢越 加藤 光春

朱をもやしツツジの山路登り行く

自然の景に言葉なくして

旧友の便り途絶えて時経つも

夢のあなたの笑顔変わらず

矢越 小山 富子

気仙沼にカツオ大漁のニュースあり

夕餉の膳にハラス届きぬ

折壁 西 民

思案気に首を回して鬼ヤンマ

何処から侵入窓に止まりて

折壁 雷 風

川柳 く内田 正好 選

食事中気になる試合に箸を置き

ユニフォームアウエーが人気サムライブルー

折壁 昭和 小葉

図書館へつい足が向く本恋し

戦争は只々人の殺し合い

年取ると痩せ過ぎよりも太りたい

矢越 加藤 光春

梅雨の庭草刈り予定が増えていく

ナフサない影響じわりと暮らしまで

折壁 走 男公

ソーシヨット花を囲んでいい感じ

畑に咲くひまわり高々まぶしくて

津谷川 佐藤 可奈

給湯器お湯出ないのは寿命だと

大でまり白白コラボふじの花

矢越 尾山 与太郎

《選者吟》

姉卒寿山燃えてるとつつじ見て

俳句 く村上 群青 選

夏が来た大海原に君と僕
花が散る女盛りも短くて

矢越 加藤 光春

新しき靴や夏草踏みしめる
海猫や遠き山間の水田まで

折壁 草村山葵

頂きを躑躅が染める室根山

シルバーの四方山話濃紫陽花

折壁 小山 すゑ

新茶汲む恙なき日であれかしと
忘れぬ尾瀬の木道空遠く

折壁 佐藤 川古

雨止まずラジオ聴きつつ茶腹かな
露天湯に燕舞いけり梅雨始め

折壁 雷 風

《選者詠》

裏山の風迷ひ込む網戸かな

「ふれあい」文芸コーナーでは、投稿作品を募集しています。毎月25日が締切りとなっておりますので、郵送もしくは室根市民センターへ直接お持ちください。

選者による添削ののち、選ばれた句が翌日に掲載となります。【例：8/25 締切分→10/1 発行号掲載】皆さんの投稿をお待ちしております！